地域包括ケアの地区展開　令和８年度　梅丘　地区アセスメント

人口

面積（k㎡）	人口（人）	人口密度（人/k㎡）	高齢者人口（人）	高齢化率(%)	年少人口（人）	年少人口率(%)	世帯数（世帯）	平均世帯人数（人）	高齢者がいる世帯数	高齢単身者世帯数	高齢者のみ世帯数	その他高齢者がいる世帯	高齢者がいる 世帯率(%)	内高齢単身・高のみ世帯率	介護保険 認定者数(人)	認定率(%)	障害者手帳保持者 身体障害者手帳	愛の手帳	障害サービス受給者 自立支援給付	障害児通所給付
1.604	28,833	17,976	5,914	20.51%	2,797	9.70%	16,829	1.71	4,354	2,042	1,093	1,219	25.87%	18.63%	1,335	22.57%	552	134	188	83

傾向

梅丘地区は、区内全体と比較して平均世帯人数が1.71(区平均1.82)と0.11ポイント低い、高齢化率が20.51%(区平均20.72%)と0.21%低い、年少人口率が9.70%(区平均10.94%)と1.24%低い傾向にある。
【人口(2026.4.1現在)】梅丘１丁目4,041人、梅丘２丁目3,368人、梅丘３丁目1,627人、豪徳寺１丁目4,268人、豪徳寺２丁目2,525人、代田１丁目3,926人、代田２丁目3,493人、代田３丁目5,585人
【高齢化率(2026.4.1現在) 】梅丘１丁目20.64%、梅丘２丁目21.44%、梅丘３丁目21.41%、豪徳寺１丁目23.06%、豪徳寺２丁目24.55%、代田１丁目17.27%、代田２丁目21.24%、代田３丁目17.94%
【年少人口率(2026.4.1現在) 】梅丘１丁目8.29%、梅丘２丁目10.42%、梅丘３丁目10.63%、豪徳寺１丁目7.94%、豪徳寺２丁目13.50%、代田１丁目10.65%、代田２丁目7.53%、代田３丁目10.33%
【単身世帯の割合】令和２年国勢調査で梅丘地区の単身世帯の割合は、57.62%と区平均の50.97%より6.65ポイント多い。

地域活動

町会・自治会数	会員世帯数	サロン等登録団体数	サロン	子育てサロン	ミニデイ	社協・新たな居場所登録団体数	社協・民間施設の活動場所発掘件数	社協・地区サポータ登録者数	生活支援体制整備事業　協議体開催回数	資源開発・生活支援サービス件数
6	11,182	16	16	0	0	5	29	64	7	2

主な活動団体とその取組内容

地区における様々な課題を発見し、各種関係団体との情報交換や特徴を共有しながら、その解決に向けて自発的に対応している主な団体、梅丘地区町会自治会連合会、梅丘地区身近なまちづくり推進協議会、青少年梅丘地区委員会、梅丘地区ごみ減量・リサイクル推進委員会、日赤奉仕団梅丘分団、梅丘地区社会福祉協議会、梅丘地区民生委員・児童委員協議会、四者連携会議出席メンバーなどが存在する。

生活支援

地域密着型サービス 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	夜間対応型訪問介護	認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	認知症高齢者グループホーム	地域密着型特別養護老人ホーム	ショートステイ	特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	都市型軽費老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム	うち、特定施設入居者生活介護
0	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	2	2

障害者・児　通所系・共同生活援助等

すまいる梅丘（身体/生活介護）、障害者生活支援施設　梅ヶ丘（身体・知的・精神/生活介護）、CrazyCats（精神/就労継続支援B）、放課後等デイサービスメディキッズ梅ヶ丘（児童（重症心身障碍児））、梅丘ウッドペッカーの森（就労継続支援B）、にこにこ みやさか（障害者生活介護施設）、自立生活センターＨＡＮＤＳ世田谷、ノテ梅丘（小規模多機能型居宅介護）、代田の家（特養ホーム）、優っくり看護小規模多機能介護代田、チャームスイート豪徳寺（介護付有料老人ホーム）

障害相談支援機関・相談支援事業所

地域障害者相談支援センターぽーときたざわ、保健センター専門相談課、東京リハビリテーションセンター世田谷、発達障害相談療育センター「げんき」

医療

医療機関、訪問看護等

医療情報ネット「ナビイ」によると、梅丘地区内には、診療所に関しては梅丘15件、豪徳寺9件、代田7件あり、薬局に関しては順に6件、5件、4件の登録がある。一方、地区内には病院はなく、区内の救急医療機関としては北沢地域外に15件の救急医療機関が設置されている。また、夜間・休日の急病への対応として区の医師会、歯科医師会、薬剤師会も診療時間外の救急対応を行っている。
訪問看護等のサービスは、当事者のニーズを把握したうえで近隣地区も踏まえた事業者情報を第三者評価等から収集し、適切な事業者選択に繋がるような形でサービスを提供している。

子ども・教育	児童館	代田南児童館
	その他、児童施設	子育てステーション梅丘、ほっとスクール「城山」
	おでかけひろば	そらまめハウス、おでかけひろばcobaco、守山保育園おでかけひろばまもりん、おでかけひろばMani（子育てステーション梅丘）、おでかけひろば一空、おでかけひろば@あみーご、おでかけひろば どんぐり
	保育施設	【区立】豪徳寺保育園、守山保育園 【私立】春明保育園、梅丘なごみ保育園、あそびの森ゆう、あそびの森ゆう＋（あそびの森ゆうの分園）、キッズスマイル世田谷梅丘、学び処世田谷保育屋敷わびさびあそび、世田谷代田仁慈保幼園
	幼稚園	【私立】私立認定こども園(幼稚園型)　円光院幼稚園、代田幼稚園、青葉学園幼稚園、常徳幼稚園
	新ＢＯＰ	山崎小新ＢＯＰ、城山小新ＢＯＰ、代沢小新ＢＯＰ、代田小新ＢＯＰ
	地区内に所在する小学校または関係のある小学校	【区立】山崎小学校、城山小学校、代沢小学校、代田小学校
	地区内に所在する中学校または関係のある中学校	【区立】世田谷中学校、富士中学校、梅丘中学校 【私立】国士舘中学校、鷗友学園女子中学高等学校
	地区内に所在する高校・大学等または関係のある高校・大学等	【私立】国士舘高等学校、鷗友学園女子中学高等学校、国士舘大学、東京医療保健大学（世田谷キャンパス）
	子どもに関するその他の事項	
	池之上青少年交流センター「いけせい」、代田児童館、若林児童館、上町児童館、都立光明学園、さくらとゆかいな仲間たち（子ども食堂）【休止中】、アライブランチ、代田子ども食堂、うめ・ゆめ子ども食堂	
その他支援	その他の支援機関など（例：就労支援など）	
	教育相談室、児童相談所、きたざわ子ども家庭支援センター、ほわわ花見堂（児童発達支援）、病児・病後児保育室下北沢ひよこ園、つだ小児科クリニック病児保育室、三茶おしごとカフェ、北沢ボランティアビューロー、ワークサポートせたがや、東京わかものハローワーク、ハローワーク渋谷、渋谷労働基準監督署	
公共施設	図書舘	梅丘図書館、経堂図書館、代田図書館、国士舘大学（中央図書館）図書館公開利用、せたがやeカレッジ
	地区会館、区民集会所など	梅丘地区会館、花見堂地区会館、代田地区会館、宮坂区民センター、代田区民センター、羽根木公園スポーツ施設、梅丘中学校温水プール

住まい・環境・防災

主な公園・緑道・広場	梅丘とちのき公園、梅丘やまぼうし公園、豪徳寺一丁目オリーブ公園、豪徳寺一丁目たまにゃん公園、世田谷城阯公園、北沢川緑道、梅丘北公園、豪徳寺稲荷下橋公園、すみれ公園、羽根木公園（羽根木プレーパーク、羽根木公園茶室「星辰堂」「日月庵」）、梅丘児童遊園、代田広場、代田富士３５６広場、代田南広場、梅丘２－２９遊び場、豪徳寺東辻広場、代田２－１４遊び場、花見堂広場

土地利用、地理的特徴（住宅の特徴を含む）

区のほぼ中央に位置し、梅丘、豪徳寺、代田（１～３丁目）の３町からなる。南は世田谷地域に隣接し、当まちづくりセンターは区役所から700m程の距離に位置している。
国士舘大学・世田谷城阯公園・豪徳寺が大きな面積を占め、環状七号線以外は大きな道路の少ない比較的環境に恵まれた住宅地である。
隣接している羽根木公園や北沢川緑道・烏山川緑道は良い散歩コースで、世田谷城阯公園、豪徳寺、善性寺、齋田記念館、代田八幡神社などを含めると緑にも恵まれた地区である。規模の小さいポケットパークはあるが、子どもが遊べる公園・広場が少ない。
梅丘まちづくりセンターは、地区内の高台に位置し、東・南・北に低くなっている。
東京都による小規模都営住宅廃止の方針から、令和７年度下半期に、都営代田１丁目アパートが廃止され、解体工事が予定されている。

交通の便に関する事項（鉄道・道路）

南北には「鎌倉通り」「環７」「豪徳寺商店街通り～山下商店街通り」がある。東西には、淡島方面から梅ヶ丘駅に至るバス通り「梅丘通り」、環７から代田３・梅丘１・豪徳寺１丁目南端を通り、経堂本町通り商店街に抜ける「滝坂道」、豪徳寺２丁目の一部を通る「城山通り」がある。また、淡島通りからつながる都市計画道路補助５２号線の事業が進められている。
環七により地区内が分断されており、特に子どもと高齢者の行動範囲が環七を挟んで東側と西側に分かれてしまっている。
主な交通機関は小田急線（世田谷代田駅・梅ヶ丘駅・豪徳寺駅）と世田谷線（宮の坂駅・山下駅）である。
平成29年１月からコミュニティバス（梅ヶ丘駅～等々力操車所）の運行が開始し、平成30年４月からバスの運行時間を拡大している。
令和５年に実施した車座集会の中で等々力操車場から梅ヶ丘駅に向かう経路中のまちづくりセンター付近に停留所がないことへの是非について質問があったが、停車位置の確保や道路形状の問題から見送られたことが説明された。
令和７年３月より梅ヶ丘駅を経由し経堂駅と渋谷駅を結ぶバスの運行本数が減少し、買い物や通院等で不便になったとの声があがっている。

産業に関する事項（買物・商店街などを含む）

梅ヶ丘駅周辺の梅丘商店街振興組合、豪徳寺駅南側の豪徳寺商店街振興組合、豪徳寺駅北側の山下商店街振興組合、梅丘通り沿いの代田一丁目商店会など８つの商店街がある。買い物困難地区（店舗から500m以上離れている地区）とは言えないが、梅丘３丁目と代田３丁目の一部に買い物の不便なエリアがある。
また、区が福祉のまちづくりを積極的に展開してきたこともあり、働く職場という視点で地域を見た場合、「うめとぴあ」、児童相談所をはじめ多くの福祉関係施設が集中している。なお、宮坂1丁目にはシルバー人材センター本部がある。

防災　→　各地区の地区防災計画を参照

地区課題解決の取組み

地区ビジョン
『地域で見守り支えあうまちづくり　梅丘』 地域の誰もが孤立せず、求めているときに必要な支援が受けられるよう、相談機関、地域団体、近隣住民が繋がり、相互に顔の見えるネットワーク（地域の絆）づくりを目指す。

課題、取組みの方向性
1. 高齢者・障害者・子どもなどの見守り 　これまで地域で高齢者の見守りを進めるため「見守りあんしんシート」を作成、配布し、町会・自治会、商店街、あんしんすこやかセンター、社会福祉協議会等の関係機関が中心となって取組みを進めてきた。令和４年度より高齢者のみでなく、障害者・子ども等にも見守りの対象を広げた。令和５年度より子どもも含めた啓発物「見守り・気づきのポイント」を作成し、配布している。令和６年度は、子どもの見守りについて講演会を実施し、令和７年度は講演会の際のグループディスカッションでの意見をまとめた「子どもの見守り・気づきのポイント」を作成し、配布している。
2. 地区防災・減災活動 　梅丘地区内は、地区防災訓練をとりやめ町会・自治会単位で防災訓練を行っている。また、地区内にある４か所の指定避難所（世田谷中学校、城山小学校、山崎小学校、さくら花見堂）の運営について、主に町会・自治会で構成される避難所運営委員会とともに訓練や検討を行っている。平成26年度より「発災後72時間は地区の力で乗り切る」をスローガンに掲げた「防災塾」を開催し、梅丘地区防災計画の策定など、地区内の防災力の向上を図っている。
3. 日常の困りごとや相談への対応 　通常の困りごとや相談は、まちづくりセンター、あんしんすこやかセンター、社会福祉協議会、児童館といった各組織の職務に応じてそれぞれのネットワークも活かしながら適宜、情報を共有しつつ対応に当たっている。ただし、多世代交流や、男性介護者の交流や情報交換、豪徳寺参拝を目的とした一部海外からの観光客による問題行為等、個別に配慮、調整しなければならない事項も多く、引き続き丁寧でケースに応じた対応が求められるため、協力しつつ対応する。
4. 地域活動のＰＲ方法の検討と担い手の発掘 　町会自治会会員の減少や高齢化により、従来行って来た回覧板や掲示板によるＰＲでは、地区内に情報が行き渡らなくなってきている。また、地域活動の大半を占める高齢者と若い世代とのつながりも希薄になっており、活動の存続が危ぶまれる状況となってきている。町会自治会内外の多世代への周知方法や地域活動の次世代の担い手の発掘等について検討していく。
5. 高齢者や子どもの居場所 　地区内の活動・交流の拠点として、環七の東側にはさくら花見堂ができたが、環七の西側には活動・交流できる施設が少ない。以前は、厚生会館がその役割を果たしていたが、廃止されたことにより豪徳寺・梅丘エリアの高齢者や子どもの行き場が失われた。豪徳寺・梅丘エリアへの高齢者や子どもの居場所の開設を求める要望があがっている。

参加と協働の地域づくりの取組み内容（参加と協働を基盤とした地区課題への取組み）	
①	【居場所づくり・多世代交流】四者連携会議において、学校の長期休暇中の小学生の食について地区課題としてとらえ、令和５年度より「みんなで一緒に食事会」を実施している。高齢者と小学生・中学生を対象とし、一緒に調理・食事をし、世代を超えた交流の場としての事業であり、今後も継続して実施していく。
②	【居場所づくり・多世代交流】梅丘地区社会福祉協議会が、令和８年度より検討を開始した「子ども見守り・多世代交流事業」の実現に向けて四者連携で支援していく。
③	【地区防災力の向上】地域の意見を聞き取りながら避難所運営の意識を高めていく。今後は、訓練の質の向上を図りたい。加えて、各避難所における避難所運営の検討の中で「避難所運営委員の高齢化により、避難所運営が厳しくなりつつある」現状を踏まえて、ＰＴＡ等の若い世代を取り込んでいく方策を考える。
④	【高齢者・子どもの見守り】梅丘見守りネットの会（町会・自治会、商店街、あんしんすこやかセンター、社会福祉協議会等で構成）により、地域で高齢者の見守りを進めるための「見守りあんしんシート」、子どもも含めた啓発物「見守り・気づきのポイント」を配布している。
⑤	【高齢者・子どもの見守り】梅丘見守りネットの会では、令和６年度の子どもの見守りについての講演会を受けて、子どもを対象とした「見守り・気づきのポイント」を作成し、配布している。
⑥	【高齢者・子どもの見守り】梅丘見守りネットの会では、高齢者・障害者・子ども等の見守りに関係するテーマにより、講演会を実施している。
⑦	【買い物不便解消】隣接する若林５丁目は買い物不便エリアであり、梅丘３丁目の高齢な居住者も買い物の不便さを感じていた。若林地区から２地区合同で四者連携事業実施の提案があり、令和７年度より、地区境の教育総合センター敷地を利用した週１回のコンビニエンスストアによる移動販売を実施している。
⑧	【交流機会】男性の介護者より他の男性介護者と交流や情報共有したいということから、あんしんすこやかセンターにおいて「梅丘男性介護者の会ぴあエール」を実施している。
⑨	【交流機会】認知症がある方もない方も共に過ごし、自分の思いを発信できる場としてアクションチーム「うめカフェ」を実施している。この参加者を多世代交流事業の「みんなで一緒に食事会」へとつなげている。
⑩	【交流機会】高齢者の不安の解消を目的に、人生の終わりに向けた準備に必要なものを学び、交流しあう居場所として「終活カフェ」を実施している。最近は「人生を楽しむことも終活の一つ」と捉え、「今」を楽しむ住民を講師役に情報交換や話題の提供も始まる等、居場所として定着してきている。
⑪	【日常の困りごと】豪徳寺参拝を目的とした一部海外からの観光客による問題行為に対応するため、令和８年度は、豪徳寺駅から豪徳寺山門までのルート案内の表示物を作成する。